

なすからすやま

2023
July
No.214

7

Nasukarasuyama City Public Relations

大切な人とずっと元気に けんこう 健幸寿命を延ばそう



特集	みんなで延ばすべ！ ^{けんこう} 健幸寿命	2
	庁舎整備について	6
	地域おこし協力隊に長岡さんが着任	8
	烏山高生の「烏山の山あげ行事」体験	10
	運動会・体育祭	13
	まちかどリポート・「からせん」の思い出	15
	お知らせ	16
	みんなの自慢の1枚・市内のほたる	18

みんなて延ばすべ！^{けん こう} 健幸寿命

— なすからすやま健康プラン第2期計画 —

近年、健康づくりの重要性が高まる中、市ではすべての市民が健康で心豊かに生活するために「なすからすやま健康プラン第2期計画」を策定しています。この計画は平成29年度から令和8年度までの10か年計画で、令和4年度には中間評価を行いました。

今回の特集では、中間評価の結果から、令和5年度から令和8年度までに重点的に取り組む内容を紹介します。みんなて健康寿命を延ばし、元気あふれるまちにしましょう！



(平成29年度～令和8年度)

なすからすやま健康プラン第2期計画

基本目標

小さくてもキラリと輝る^{ひか}
健幸な人^{けんこう}とまち

基本方針

- ・市民主体の健康づくり
- ・楽しみながらトライできる健康づくり
- ・支えあうしくみがあるまちづくり

この計画では、114の評価項目を設定しており、最終年である令和8年度までに達成すべき目標を数値化しています。その目標値に対する中間評価の結果(令和4年度実施)は右の表のとおりです。この結果から「目標値に達した(改善した)」「目標値に達していないが改善傾向にある」は全体の65.8%と評価項目の半数以上が改善傾向を示しており、平成29年度からの取り組みが徐々にではありますが、成功したと言えます。

しかし、「目標値に達していない(悪化している)」は全体の33.3%にのぼり、改善するために力を注がなければならない課題が見えてきました。次のページからは、課題とこれからの4年間で取り組むべきことを紹介します。

● 評価結果(評価指標114項目)

評価区分	項目数	主な項目(抜粋)
A 目標値に達した(改善した)	35 (30.7%)	・睡眠による休憩がとれていない人の割合(20～50歳代) ・家庭や自家用車で受動喫煙を受けている人の割合 ・飲酒している人の割合(2合以上) ・むし歯有病率の割合(小中高生)
B 目標値に達していないが改善傾向にある	40 (35.1%)	・趣味や生きがいのある人の割合 ・喫煙している人の割合 ・特定健診受診率、がん検診受診率
C 変化していない	1 (0.9%)	・朝食を毎日食べる人の割合(年中児)
D 目標値に達していない(悪化している)	38 (33.3%)	・朝食を毎日食べる人の割合(小中学校、20～40歳代男性) ・1日30分以上週3日以上の運動をしている人の割合 ・ストレスがある人の割合 ・24本以上歯を保有する人の割合(60歳代)

評価方法

令和3年度に生活習慣に関するアンケートを実施。その結果をもとに那須烏山市健康づくり推進協議会や市民ワーキング部会(子ども部会・成人部会・高齢部会)で評価しました。

これからの4年間で取り組むべきこと

以下の表1、表2を見ると、各項目の中間評価値(赤字)は、策定時よりも数値が悪化していることが分かります。このことから市では、「栄養・食生活」、「運動・身体活動」を特に取り組むべきこと(重点施策)として、目標値に達するために様々な取り組みを行ってまいります。

○栄養・食生活



目標達成のために特に取り組むべきこと

- ・毎日、3食バランスよく食べましょう。
- ・毎日、野菜を食べましょう。
- ・自分の適正体重を知り、維持しましょう。

表1

項目	該当者	策定時(H28)	中間評価値(R3)	最終目標値(R8)
肥満者の割合	40歳代男性	31.7%	42.6%	25.0%以下
朝食を毎日食べる人の割合	小学生	89.3%	87.7%	90.0%
	中学生	78.6%	77.0%	80.0%
	20歳代男性	53.5%	50.0%	70.0%
	30歳代男性	62.5%	57.8%	
40歳代男性	65.1%	61.7%		
毎日、3食食べていない人の割合	70~89歳	3.1%	7.9%	2.0%



栄養バランスの講座

管理栄養士・保健師による食生活相談のほか、市食生活改善推進員が栄養バランスなどの食に関する啓発活動をしています。

改善するために市が取り組んでいること

- ・望ましい食生活の普及啓発
- ・職域と連携した食生活に関する事業の実施
- ・フレイル予防事業での普及啓発

○運動・身体活動



目標達成のために特に取り組むべきこと

- ・1日30分、週3日以上運動を心がけましょう。
- ・自分に合った運動を習慣化しましょう。
- ・今より10分身体活動を増やしましょう。

表2

項目	該当者	策定時(H28)	中間評価値(R3)	最終目標値(R8)
1日30分以上週3日以上運動をしている人の割合(体育の授業以外)	小学生	50.5%	47.7%	60.0%
	中学生	51.4%	45.7%	60.0%
	高校生	46.6%	43.5%	55.0%
運動を習慣化している人の割合	30歳代男性	15.3%	8.9%	30.0%
	70歳代男性	32.5%	31.0%	40.0%



ふまねっと運動

イスウル友の会によるふまねっと運動など、楽しみながら健康づくりを学べる事業を行っています。

改善するために市が取り組んでいること

- ・身体を動かす必要性の普及啓発
- ・健康マイレージ事業をブラッシュアップし、楽しみながら運動できる環境の整備
- ・学校や職域と連携した運動に関する事業の実施
- ・ふれあいの里などのスタッフの養成や運動の推進

3ページの「栄養・食生活」「運動・身体活動」のほかにも、健康寿命をのばすために市では、以下の4つの分野についても様々な取り組みを行っています。

○休養・こころの健康



ポイント!

- ・自分に合ったストレスと上手に付き合う方法を見つけましょう。
- ・自分の時間を大切にしましょう。
- ・良質な睡眠がとれるよう生活リズムを整えましょう。



元気あつぷ市民の集い

こころの健康に関する普及啓発活動や市民参加型で楽しめるイベントを実施しています。

○たばこ・飲酒



ポイント!

- ・たばこやお酒について、正しい知識を習得しましょう。
- ・禁煙・受動喫煙防止を推進しましょう。
- ・たばこやお酒以外の楽しみを持ちましょう。



禁煙相談

健康診査の結果説明会では、保健師がお酒の適正量や禁煙の相談を受け付けています。

○歯の健康



ポイント!

- ・毎食後、歯や歯茎を磨きましょう。
- ・歯周病について学び、予防しましょう。
- ・定期的に歯科検診を受け、自分の歯を維持しましょう。



歯科検診

市の集団健診では、歯科検診も実施しています。定期的に自分の歯の状態をチェックしましょう。

○生活習慣病



ポイント!

- ・規則正しい生活習慣を身につけましょう。
- ・健康診査を受診し、自分の健康に関心を持ちましょう。
- ・健康マイレージ事業に参加し、健康づくりに取り組みましょう。



健康診査

健康診査を受診すると「健康マイレージ」事業に参加できます。

一緒に健康づくりに励んでいます！

健康診査の結果説明会で特定保健指導を受けたことをきっかけに健康づくりに取り組む関一郎さん(小木須)。妻のイツ子さんとともに、夫婦で健康づくりのために気をつけていること、意識していることを聞いてみました。



関一郎さん、イツ子さんご夫妻

関一郎さん



体重を減らすために運動をする習慣をつけようと、市の運動習慣化教室に通いました。教室では、音楽に合わせて運動したほか、ノルディックウォーキングをしました。今は、自宅の近くで30分程度のウォーキングをしています。普段は農作業をしていますが、農作業とウォーキングでは運動の質が違っていると聞き、できるだけ歩くようにしています。この辺りは坂道が多く、歩くのが大変ですが、継続しているうちに坂道を登りきれるようになったのがうれしいです。

少しでも長く元気でいられるように、今の生活を維持していきたいです。

関イツ子さん



夫とともに運動教室やウォーキングを一緒にしていますが、私は特に食生活を意識するようになっています。年齢を重ねると塩分や糖分の取り過ぎに気をつけなければならないので、みそ汁を作るときには具たくさんにして塩分を抑えたり、揚げ物は衣を薄くしたりを意識しています。また、農作業中の休憩時間では、間食をし過ぎないようにまんじゅう1つを2人で半分ずつ食べるようにしています。

病院を受診しなくても済むように、自分自身が健康でいられるために何が大切かを意識して生活しています。

市では、多くの市民の皆さんに楽しく健康づくりに取り組んでいただけるよう、「なすから健康マイレージ事業」を行っています。健康診査の受診と2つ以上の健康に関する取り組みで、対象施設で利用できる1,000円分の利用券をご用意しています。応募者には抽選で豪華賞品も当たります！

ぜひ、気軽にご参加ください。



なすからすやま健康プランの詳細はこちら



なすから健康マイレージの詳細はこちら



庁舎整備検討委員会が再始動！

耐震性の不足による
倒壊や崩落の危険性を再認識

本市の庁舎整備については、平成31年3月に「那須烏山市庁舎整備基本構想(素案)」が策定された後、議論が停滞しています。

令和5年度は、庁舎整備基本構想(素案)の見直しを図るため、次代を担う若者や女性を中心とした委員で構成する「那須烏山市庁舎整備検討委員会」を再組織し、議論を再開することとしました。第1回検討委員会では、「現庁舎の現状および新庁舎の必要性について」をメインテーマとして議論を行いました。本号では、その内容をお伝えします。



現庁舎の課題 ▶ 耐震性の不足

烏山庁舎・南那須庁舎ともに耐震性が不足しており、平成24年に行った耐震診断では、震度6を超えるような大地震の際、庁舎が倒壊または崩落する危険性が高く、建て替えなどの抜本的な対策が望ましいと判定されています。診断から10年以上が経過している現在、老朽化による更なる耐震性の低下が懸念されています。



もしも、地震で庁舎が倒壊したらどうなるの？

重要書類やパソコン、電話機などが使用できず、被害状況の確認等の情報収集や関係機関との連絡ができない！

市民の皆さんにも様々な影響が出てしまいます

避難所設置等の必要な情報発信ができない



避難したくても、どこに逃げたらいいか分からず避難できない！

緊急支援物資の受入や避難者への提供が滞る



避難した後、水や食料、衛生物品などの必要な物資が手に入らない！

市役所の機能が停止



被災証明・り災証明の発行を受けられず、保険金の請求ができない！

熊本地震の教訓～防災拠点の損壊～

平成28年に発生した熊本地震の際には、耐震基準を満たしていなかった4市町の他、耐震基準を満たしていたものの震度7を2度観測した熊本県益城町の庁舎が被災して使用できなくなり、関係機関との連絡や被害状況の確認等に大きな支障が生じました。熊本県宇土市長は、**自戒を込めて「耐震化していない自治体は危機感を持ってほしい。災害時には拠点となる施設が不可欠。庁舎は決して職員だけのものではない」と**訴えています。

※毎日新聞2023年4月13日朝刊の3面「人口・歳入減 庁舎耐震化阻む」より引用

県内の庁舎耐震化・非常用電源設備整備の状況

県内市町で庁舎の耐震不足が未解消なのは、今年度新庁舎が完成する塩谷町を除き3市(那須烏山市、足利市、矢板市)のみです。また、常設の非常用電源設備が未整備なのは本市のみであり、国の消防庁からは、災害対策本部設置庁舎の耐震化に速やかに取り組むこと、非常用電源設備を早急に整備することが求められています。

検討委員会スケジュール

	期日	主な内容
第1回	6月21日	現庁舎の現状および新庁舎整備の必要性
第2回	7月19日	今後の庁舎方式のあり方など
第3回	8月16日	庁舎規模の再検討
第4回	9月28日	候補地の比較検討
第5回	10月26日	候補地案の選定
第6回	11月30日	基本構想(素案)の検討、1次答申案の検討
第7回	1月下旬	公共施設の再編再配置シミュレーションの検討
第8回	2月下旬	2次答申案の検討



第1回庁舎整備検討会の様子

今回の検討委員会では、現庁舎の現状や課題を再認識したうえで、新庁舎整備の必要性について議論し、理解を深めました。

委員からの意見

～ 委員会における主な意見 ～

- 災害が発生した場合に備えた抜本的な対策が急務である。
- 10年後、20年後の都市構造や市民生活を想像し、市民の声を聞きながら議論を行っていくべき。
- 庁舎を核にして総合的に公共施設を再編再整備していく必要があり、庁舎整備に待ったをかけられてしまうと、再編全体が進まなくなってしまう。新庁舎の整備は必要不可欠である。
- 紙媒体にプラスしてSNSを活用した情報発信ができると、より効果的ではないか。

～ 専門家からの意見 ～

稲葉委員(栃木県防災士会理事長)

地震防災の最優先事項は、「命を守る」こと。家が壊れないために、強固な地盤と建物の耐震性が求められています。

行政庁舎は災害時の住民サービスや災害対策本部設置など、防災拠点として市民の安全・安心を確保するために耐震化は待ったなしです。

大塚委員(とちぎ建設技術センター常務理事)

耐震性のない現庁舎は、東日本大震災の教訓等を踏まえて、市民の安全・安心な暮らしを支える防災拠点として早急な対応が必要です。

新庁舎については、より良い市民サービスの提供や地球温暖化対策などの社会要請に対応し、市の自然や歴史・文化の息づいた未来につなぐ拠点施設となることを望みます。

7月19日(水)に開催を予定している次回の検討委員会では、「庁舎方式のあり方」や「支所機能のあり方」といったテーマについて検討を行っていきます。

庁舎整備検討委員会の会議資料や会議録、庁舎整備ニュースレターのバックナンバーは、市ホームページで確認できます。また、庁舎整備に関するご意見については、住所・氏名・連絡先をご記入のうえ、メールで下記あてお送りください。

■問合せ 総合政策課庁舎整備推進室

Eメール:sohgohseisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp

なぜ、新築が必要か

下表にもあるとおり、現庁舎の改修・耐震補強だけでは十分な課題解決ができないばかりではなく、建物の寿命(耐用年数)は変わらないため、近い将来には新築建て替えが必要です。

現庁舎の改修・耐震補強と新築建て替えとの効果比較(抜粋)

課題	現庁舎の改修・耐震補強	新築建て替え
耐震性の不足	△	○
施設・設備の老朽化	×	○
庁舎の狭隘化・駐車場の不足	×	○
バリアフリー・ユニバーサルデザインへの対応	△	○
分庁方式の弊害	×	○

○…解決する △…十分な解決は困難 ×…解決しない

本市の財政状況

庁舎整備には多大な費用が必要となるため、本市では、着実・確実に基金を積み立ててきました。

しかし、近年は資材費や人件費の高騰が続いているため、これらの高騰分も含めた事業費を想定しながら、さらなる財源の確保が必要です。

基金残高

	H26年度末	R4年度末
市有施設整備基金	17億円	20億円
庁舎整備基金	0円	20億円
合計	17億円	40億円



▲市ホームページ

達成者に景品プレゼント！ 「なすから民話地めぐり」開催中

市では、民話アニメーション動画やデジタル観光周遊ナビを活用した民話ツーリズムを促進し、郷土愛の醸成や新たな観光誘客を図るため、「なすから民話地めぐり」を開催しています。昨年に引き続き第2弾となる今回は、昨年の民話地と場所を変更して開催しています。

なすから民話地めぐりでは、観光周遊ナビを用いて指定された3か所の民話ゆかりの地を巡ります。参加費は無料で、スマートフォンがあればどなたでも参加できます(アプリのインストールは不要)。

達成者には、500円分の地元特産品または民話本をプレゼント！この機会にデジタル観光を活用して、市の魅力を再発見してみませんか？

【参加方法】

- ①山あげ会館で受付
- ②観光周遊ナビを用いて目的地に出発
- ③民話地に到着したら写真を撮影
- ④撮影した写真を龍門ふるさと民芸館または山あげ会館のスタッフに提示
- ⑤景品をゲット！



市観光周遊ナビ



民話地めぐり
(市ホームページ)

【指定の民話と場所】

- ・お城を救った牛と蛭(清水川せせらぎ公園)
- ・蛇姫様(太平寺)
- ・龍門の滝(龍門の滝)

地域おこし協力隊 長岡周平さんが着任

本市の地域おこし協力隊として、宇都宮市出身の長岡周平さんが着任しました。

地域おこし協力隊とは、人口減少や高齢化が著しい地方で都市地域から人材を受け入れ、その地域への定住・定着を図ることで、地域力の維持・強化を図る取り組みです。長岡隊員は、2か月間(4月～5月)のインターン期間を経て、6月1日から本採用となり、最長3年間隊員として活動します。

活動テーマは、「移住定住・シティプロモーションに関する事業」で、空き家バンクの利活用促進、移住相談の対応、SNSなどでの本市の魅力発信に取り組みます。

長岡隊員は、「先輩隊員の武田さんと協力して、地域のプロモーションや市内の活性化などに取り組みたい」と今後の活動に意欲を見せました。

長岡隊員の活動など詳細は、市ホームページからご確認ください。



市ホームページ



長岡周平 隊員

プロフィール

【出身地】

宇都宮市

【本市の好きなところ】

自然が身近に感じられるところ。特に自宅の窓から見える景色がお気に入り。

【活動拠点】

市役所まちづくり課



J R烏山駅前でのイベントに参加(左から長岡隊員、武田隊員)

人権思想普及のために 市内各地で人権啓発活動

6月1日(木)の「人権擁護委員の日」に併せ、宇都宮人権擁護委員那須烏山部会(鈴木善雄部会長)が市内各地で人権啓発活動を行いました。

6月1日(木)には、市役所烏山庁舎で特設人権相談所を開設したほか、市内のスーパーで人権街頭啓発が行われ、委員8人が買い物客に人権啓発グッズを配布しました。

6月15日(木)には、南那須中で人権講話が行われ、滝原一夫委員が「人権を守ることの大切さ」や「SNSと人権」などについて身近な問題を交えて話しました。

6月20日(火)には、江川小で人権の花贈呈式が行われ、同部会からマリーゴールドなどの苗120株が贈られました。当日は、人権擁護委員4人が同校を訪れ、代表児童4人に花の苗を手渡しました。贈呈式で鈴木部会長は、「みんなで協力して花に水やりをして、きれいに咲かせてほしい」とあいさつ。それを受けて同校6年の阿久津閨音さん(志鳥)は、「人権の心が育つように、みんなで大切に花を育てていきたい」とお礼の言葉を述べました。



6月1日(木) スーパーで市民に人権啓発グッズを配る



6月20日(火) 人権の花贈呈式(江川小)



◀伝達式の様子

犯罪や非行防止を目指して 社会を明るくする運動

6月13日(火)、市役所烏山庁舎で「社会を明るくする運動に関する内閣総理大臣メッセージ伝達式」が行われ、南那須保護区保護司会の佐竹信哉会長と栗田光正理事が来庁しました。この運動は、犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について社会全体で理解を深め、安全・安心な地域社会を築くための全国的な取り組みです。

佐竹会長は、「7月に那珂川町あじさいホールで社明運動推進の催しも開催されることから、より一層地域の皆さんへの普及啓発に努めたい」と話していました。



◀第4分団第1部(興野)による操法

4-1、7-4が支部大会へ！ 市消防操法大会が3年ぶり開催

市消防操法大会が、5月28日(日)に那須烏山消防署で開かれました。これは、消防機器の取り扱いや日頃の練習の成果を発表することで、消防技術の向上と団員の意識を高めるために開催しているもの。新型コロナウイルス感染症の関係で3年ぶりの開催となった今回は、ポンプ車操法の部のみが行われ、第4分団第1部(興野)が優勝、第7分団第4部(大金・東原・小河原・高瀬)が準優勝しました。

両分団は、7月30日(日)に那須烏山消防署で開かれる支部大会に出場します。

烏山高校の生徒が 「烏山の山あげ行事」を体験

5月28日(日)に山あげ会館前で、県立烏山高校が行う地域課題解決型キャリア教育「烏山学」の一環として、ユネスコ無形文化遺産「烏山の山あげ行事」の体験学習を行い、1年生108人が参加しました。

当日は、生徒たちが今年の「烏山の山あげ行事」の当番町「金井町若衆団」から指導を受けながら、舞台背景である「前山」をあげたほか、山の制作体験の和紙の貼り付け作業を行いました。また、山あげ保存会芸能部会の協力で、「鳴物」や常磐津で使用される三味線などの楽器、衣装に触れる芸能体験も行われ、生徒たちはこの日の様々な体験をとおして山あげの伝統を学んでいました。

体験に参加した古森大雅さん(大田原市)は、「木頭役で拍子木を鳴らした。目の前で山があがるのを見て、映像とは迫力が全く違うのを感じた。高校を卒業したら若衆に入りたい」と体験を振り返りました。



力を合わせて前山をあげる生徒



芸能部会から常磐津の三味線の弾き方を教わる



◀大山に絵を描き入れる中村さん

中村勝之さんが はりか山を鮮やかに描く

今年の「烏山の山あげ行事」の舞台背景となるはりか山の絵描きを、中村勝之さん(中央1丁目)が担当しています。現在は、大山の絵描きの仕上げの段階で、今後は、前山と道具類の絵描きをしていく予定だそうです。

山の絵描きを始めて20年以上になる中村さん。「今年の夏も暑くなると思うので、見た人に涼んでもらえるよう、山に流れる滝を多めに描いている。観客にきれいだと言ってもらえるのがやりがい」と山の絵描きへの思いを語りました。



◀すき桁を振って和紙すきをする生徒

烏山高生が和紙すきを体験 自身の卒業証書を手作り

6月19日(月)、県立烏山高校3年生が「烏山学」の一環で、小原沢の福田製紙所「和紙の里」で紙すきを体験しました。これは同校独自の取り組みで、本市特産の烏山和紙を使い、自身の卒業証書を制作するもの。生徒たちは、同製紙所の福田博子代表らから指導を受けながら、和紙をすく道具「すき桁」で液状の紙料をすくいあげ、紙料が平らになるように力いっぱい振って和紙の卒業証書づくりに取り組みました。

川上颯大さん(上川井)は、「すき桁は思ったよりも重くて難しかったが、どんなものができあがるのか楽しみ。また体験したい」と話していました。



◀PR活動をする酪農青年女性会議のメンバー

6月1日は「牛乳の日」 市内酪農家らが牛乳消費をPR

栃木県酪農青年女性会議の興野礼子副委員長らが牛乳の消費拡大を呼びかけるため、6月1日(木)の「牛乳の日」に川俣純子市長を訪問しました。

栃木県は本州第1位の生乳生産県であり、中でも本市は県央地域で酪農が盛んな地域です。市長訪問後は、市役所烏山庁舎で来庁者にPRチラシなどを配布し、牛乳の消費拡大を呼びかけました。

興野副委員長は、「牛乳の産地として那須烏山市が素晴らしいことをアピールしていきたい」と力強く語りました。



◀ひまわりの種をまく荒川南部地域保全会会員とJR東日本社員

荒川南部地域保全会とJR社員が ひまわりの種まき作業

6月19日(月)、荒川南部地域保全会(山田清会長)が猿久保田んぼ公園や小埴駅周辺の約90アールの畑でひまわりの種まきを行いました。これは同会が環境保全のために行っているもので、毎年夏には一面にひまわりの花が咲き誇ります。今年は、JR烏山線開業100周年を記念してJR東日本宇都宮運輸区の社員8人も参加し、合計20人で種まきに汗を流しました。

山田会長は、「烏山線に乗って、ひまわり畑を見に来てほしい。これからも地域の環境保全活動を続けたい」と話していました。



◀寄附をした中村さん(中央)

烏山小創立150周年を記念して 中村彰太郎さんが寄附

5月30日(火)、中村彰太郎さん(中央1丁目)が烏山小学校創立150周年記念事業実行委員会(萩原紀夫会長)に、図書整備費として100万円を寄附しました。

母校の創立150周年の役に立ちたい思いから寄附したという中村さんは、「小学生は国語の力を身につけるために大切な時期なので、本に親しんでほしい」と語りました。寄附を受けた萩原会長は、「いただいた寄附は、子どもたちの将来のために活かしていきたい」と応えました。



◀宮澤院長による講演会の様子

南那須地域医療を守る会が 講演会や寸劇を企画

6月18日(日)、南那須地域医療を守る会(本間真二郎代表)が企画した講演会と寸劇が烏山公民館で行われ、地域住民など約50人が参加しました。講演会では、那須南病院の宮澤保春院長が、コロナ診療を通じて感じた課題やその対応、感染予防のためのポイントなどを話しました。講演会後には、栃木県消費生活リーダー連絡協議会那須烏山支部による寸劇「頑張らないで認知症の介護」も行われました。

また同会では、7月2日(日)に恒例の那須南病院周辺の清掃活動を行い、会員などが協力しながらごみ拾いや草刈りなどを行いました。

◀ 多くの人が訪れた木漏れ日マーケット



OOGANE 木漏れ日マーケット 親子連れなどでにぎわう

5月21日(日)、「第9回OOGANE木漏れ日マーケット(同実行委員会主催)」が那須烏山市武道館前で開かれ、親子連れなど約800人が訪れました。地域住民らによるこのマーケットは3年ぶりの開催で、会場では新鮮野菜や和洋菓子、射的などの模擬店のほか、様々なワークショップも開かれました。また、ステージでは地元の子どもたちによるダンスなども披露され、盛り上がりを見せました。

同実行委員会委員長の矢口和美さんは、「地域の皆さんの協力のおかげで開催できたので感謝している」と話していました。

◀ 烏山城の石垣を眺める子どもたち



なすから子結び団が 烏山城ハイキング

なすから子結び団(平野達朗代表)が5月21日(日)、今年3月に国指定史跡となった烏山城跡を巡るハイキングをしました。

当日は親子25人が参加。釜ヶ入口から烏山城跡を巡った後は、毘沙門山展望台で各自持ち寄ったお弁当を食べました。市生涯学習課学芸員から烏山城の解説を聞いた子どもたちは、長い歴史を肌で感じながら新緑の中のハイキングを楽しんでいました。

参加した宇井鳳聖さん(中央2丁目)は、「山歩きは疲れたけれど、お城の説明を聞くのが楽しかった」と笑顔で答えました。

◀ 野田さん



野田ミツ子さん 100歳おめでとございます

野田ミツ子さん(南1丁目)が6月6日(火)に満100歳の誕生日を迎え、市から祝詞や記念品が贈られました。

野田さんは現在自宅で生活していて、草むしりが日課だそう。60歳ごろからは山歩きを月に2、3回していたそうで、足腰が丈夫になったことが長寿の秘訣のようです。また、野田さんは花を育てることが好きで、水仙を育てていたことも。「今の時期は紫陽花だね」と、お祝いに駆け付けた3人の娘さんたちと季節の話題に花を咲かせていました。

◀ いちご狩りを楽しむ参加者



地元の「おいしい」が勢ぞろい 夜マルシェ&ナイトベリー

大野果樹園(大野博康代表)による「夜マルシェ&ナイトベリー」が、6月3日(土)の午後5時から上大桶公民館を会場に開かれ、多くの人でにぎわいました。夜マルシェでは市内外から8店舗が出店し、ピザや焼きそば、コーヒー店などが軒を連ねました。また、仁野平いちご園でのいちご狩りには、多くの親子連れなどが参加。子どもたちは、大きないちごを見つけるとうれしそうに摘み取り、口いっぱい頬張っていました。

大野さんは、「地元の魅力を再発見してもらうことがねらい。農業に興味を持ってもらうとともに、この地域の良さを伝えられたら」と話していました。

運動会・体育祭

5月20日(土)に市内中学校で体育祭が、6月4日(日)には市内小学校で運動会が開催され、晴天の下、のびのびと競技をする子どもたちの姿が見られました。今月号では、その様子を写真で紹介します。

また、烏山小では、創立150周年を記念して市のイメージキャラクターであるここなす姫、からすまる、やまどんが登場し、児童や来場した人たちを楽しませていました。境小では、競技終了後に同校PTA主催のバルーンリリースが行われ、児童たちはバルーンが一齐に飛ぶ様子に歓声をあげました。



烏山小



境小



江川小



荒川小



七合小



南那須中



烏山中

市内企業との連携強化に向け 市長が企業訪問を実施

川俣純子市長は、6月19日(月)、21日(水)に市内の企業5社を訪問しました。この事業は、市長が市内の企業を訪問して情報交換を行うことで、産業動向を把握し、企業との連携を深めることがねらい。各企業の代表者と市長は、事業の内容や今後の展望、物価・電気代高騰などの社会情勢による企業活動への影響、求人の状況などについて意見交換しました。

その後は、工場内を見学し、企業から生産設備等の説明を受けながら事業への理解を深めました。



(有)池田屋商店であんこの生産工程を体験



(株)瀨尾化工で社員らと意見交換



(有)小澤製作所で部品加工を見学

訪問した企業

- (有)池田屋商店(中山) あんこを製造
- (株)恵伸精密(鴻野山) 精密部品を製造
- 那須工業(株)(宇井) アルミダイカスト製品を製造
- (株)瀨尾化工(野上) 発泡・合成樹脂製品を加工販売
- (有)小澤製作所(野上) 高精度金属切削加工部品を製造



市内の私立園紹介 パート2

3月号に引き続き、市内の小規模保育施設4か所からのメッセージを紹介します。

■ゆうゆうランド那須烏山園

小規模特有のアットホームな保育園です。小菜園があり園児と保育士が苗植えから収穫まで実践しています。食育も保育の大事な一貫ととらえ、皆さん、楽しい園生活を送っています。

■キッズランドあさひ

のどかな自然に囲まれた環境の中、感受性豊かな成長を育み家庭的な雰囲気の中で、個々の園児に寄り添い自立へのサポートを行っています。

■このやま保育園

家庭的な雰囲気の中で、こどもたちの持つ可能性を大切に、生きる力を育む保育を目指しています。

■あいのわ保育園

こどもの個性を大切に、自然あふれる温かい環境の中、こどもがのびのびと心身ともに健康になれるよう愛情と信頼を持って保育を行っています。

こども課保育グループでは、保育園の入園申し込みや相談などを随時受け付けていますので、気軽にお問い合わせください。

■問合せ こども課保育グループ ☎0287-88-7116



ゆうゆうランド那須烏山園

【所在地】南大和久473-24
【利用定員】12名
【電話番号】0287-83-8600
【開園時間】
平日:午前7時15分～午後7時15分
土曜:午前7時15分～午後6時15分
【対象年齢】5か月～2歳児
【連携施設】にっこ保育園



キッズランドあさひ

【所在地】宮原452
【利用定員】12名
【電話番号】0287-82-7333
【開園時間】
平日:午前7時15分～午後7時15分
土曜:午前7時15分～午後6時15分
【対象年齢】2か月～2歳児
【連携施設】すくすく保育園



このやま保育園

【所在地】鴻野山212-12
【利用定員】12名
【電話番号】0287-82-7800
【開園時間】
平日:午前7時30分～午後7時
土曜:午前7時30分～午後5時30分
【対象年齢】6か月～2歳児
【連携施設】つくし幼稚園、にっこ保育園



あいのわ保育園

【所在地】三箇185-14
【利用定員】12名
【電話番号】0287-83-8092
【開園時間】
平日・土曜:午前7時15分～午後7時
祝祭日:午前7時15分～午後7時
【対象年齢】6か月～2歳児
【連携施設】つくし幼稚園、にっこ保育園

まちかど*レポート



サリーの着付けを手伝う佐藤さん

公民館講座ボランティア 佐藤 弘子 さん



担当職員との打ち合わせ

プロフィール

- 住 所：三箇
- 市在住歴：30年
- 出身地：宇都宮市
- 趣 味：庭造り、
インド舞踊

公民館講座ボランティアをしている佐藤さんは、3年前にボランティア制度が始まった当初から活動しています。活動内容は、講座の準備や片付け、講師の手伝いのほか、実施したい講座のアイデアを出して担当職員に提案するなどです。

「ボランティアとして準備や片付けをしながら、参加者としても講座に参加できるので、楽しんで活動している」と充実した様子で語る佐藤さん。20年ほどたしなんでいるというインド舞踊の経験を生かし、佐藤さんが企画した「やさしいインド舞踊教室」には自前のサリーを着て参加。初めてサリーを着る参加者に、講師とともに着方を教えたほか、インド舞踊の動きの手本を見せていました。

「公民館講座はその道の専門家が教えてくれるので、自分の知らない奥深い世界を知ることができる。積極的に学ぶ姿勢を持った参加者を見るのは私にとって刺激になり、毎回新鮮な気持ちで参加している」と活動の魅力を語ります。

佐藤さんは、「より多くの人に講座に参加してもらえるようボランティアとして魅力を発信していくほか、若い人たちにも積極的に参加してもらえるような企画を考えていきたい」と今後の目標を語りました。

JR烏山線全線開業100周年事業 「からせん」の思い出

JR烏山線が4月に全線開業100周年を迎えたことを記念し、市民の皆さんから寄せられた「からせん」の思い出を紹介します。

高田芳郎さん(天金からのエピソード)

私の家は大金駅前であり、小さい頃は毎日のように駅周辺で遊んでおりました。

昭和三十年代頃、旧烏山町で大相撲の巡業があり、大勢の力士が来訪していました。一行が烏山線で帰るとの情報を聞き、当時の横綱「千代の山」のファンであった私は、大金駅で待ち構えておりました。横綱を見つけ手を振ると笑顔で応えてくれ大変嬉しかった思い出があります。

この頃の列車は石炭列車で、駅舎の隣に石炭小屋があり、列車に石炭をくべている光景や、田野倉の七輪工場で製造された七輪が貨物列車で運ばれる様子を鮮明に覚えています。

あなたのおきエピソードをお待ちしています！

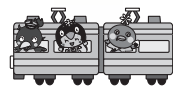
■募集内容
「からせん」にまつわる思い出エピソード(約200文字以上250文字以内)。写真も掲載できます。

■応募方法
住所、氏名、連絡先を記入のうえ、メールなどで左記あて送付する。市ホームページのメールフォームからも応募できます。

■問合せ まちづくり課地域づくりグループ

☎0287-83-1151

Eメール: machizukuri@city.nasukarasuyama.lg.jp

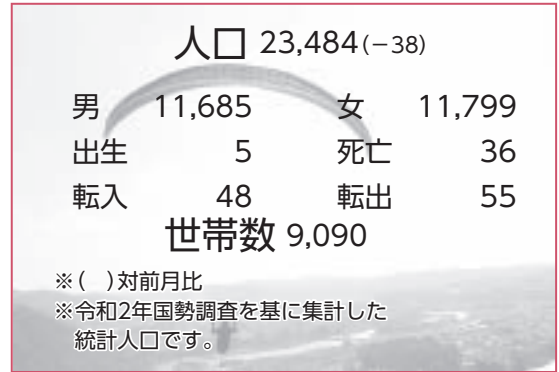


お知らせ



市の人口

令和5年6月1日現在



スポーツの結果

●第42回栃木県空手道少年錬成大会
(5月3日(水・祝)、県立県南体育館)
【小学2年女子自由組手】▽第3位：人見莉央奈(白雲会空手道)

●第17回那須烏山市弓道大会(4月29



おめでた

赤ちゃん名 (保護者)住
藤田 舞音(利信・唯香)野上 所
青木 湊斗(魁人・佳純)滝田 上
大森 稀々香(繁樹・優香)大 桶
眞鍋 凜(佑輔・可奈)南一丁目
※ここでは、保護者などの了解が得られた情報のみを掲載しています。

日(土・祝)、烏山弓道場)

【生徒の部】▽優勝：千葉彪翔(烏山高校)

▽準優勝：吉葉柊真(同)▽第3位：西原

涼介(同)

【一般女子の部】▽優勝：益子愛理▽準

優勝：小川晶子▽第3位：川島こずえ

【一般男子の部】▽優勝：鈴木崇史▽準

優勝：塚田昌紀▽第3位：高橋慶彦

●第8回関東傘寿軟式野球大会県予

選(5月5日(金・祝)、緑地運動公園)

【傘寿80歳以上】▽準優勝：烏山スネー

クス傘寿

●第12回東日本選抜古希・ブランド

古希軟式野球大会(5月5日(金・祝)、

6(土)、緑地運動公園)

【ブランド古希の部】▽第3位：烏山ス

ネークス古希

●第46回自治会親善ソフトボール大

会(5月10日(水)、11日(木)、12日(金)、17日(水)、18

日(木)、24日(水)、烏山運動公園)

【男子】▽優勝：野上自治会▽準優勝：下境・小原沢▽第3位：あたご自治会、

横枕・一の沢・小木須

【女子】▽優勝：野上・神長▽準優勝：烏

山・境地区

●第16回南那須ソフトボール協会

リーグ戦(1部)(4月5日(水)、6日(木)、

12日(水)、13日(木)、19日(水)、20日(木)、27日(水)、5

月10日(水)、11日(木)、24日(水)、緑地運動公園)

▽優勝：藤田▽準優勝：こぶし台▽

第3位：南那須シニア

●第42回栃木県壮年ソフトボール大

会南那須支部予選会(5月15日(火)、16日

(水)、緑地運動公園)

▽優勝：藤田▽準優勝：荒川南

●第68回栃木県空手道選手権大会(5

月21日(日)、県立県南体育館)

【中学生男子組手】▽敢闘賞：荒井斗真

(白雲会空手道)

【少年女子組手】▽優勝：大輪莉央奈(白

雲会空手道)

【成年女子組手】▽準優勝：生魚瑠那(白

雲会空手道)

高齢者向けにスマホ教室



市では、5月にデジタル技術活用に関する連携協定を締結したドコモとともに、高齢者向けのスマホ教室を開催しました。5月30日(火)には高齢者ふれあいの里事業に合わせて各地区のリーダーを対象に、6月28日(水)には公民館講座として一般市民を対象に教室を開催。参加者は、ドコモスタッフの説明をもとに、実際にスマートフォンを操作しながら、メールの送受信の方法などを学びました。

今後も市では、スマホ教室などを開催し、市民の情報格差の解消に取り組みます。

おわびと訂正

6月号10ページ「スポーツ少年団表彰」の記事で、「相田晏璃(同)」とあるのは、正しくは「相田晏璃(YUZUHA FC ジュニア)」です。

おわびし訂正いたします。



「ご」寄附 ありがとうございます

ふるさと応援寄附金

中山成一様(宇都宮市)から20万円、石川浩之様(東京都大田区)から3万円、匿名希望者様15人から合計25万2千円が本市に寄附されました。

企業版ふるさと応援寄附金

日産緑化(株)様(東京都千代田区)から100万円が本市に寄附されたほか、レインボー薬品(株)様(東京都台東区)、(株)小林工業様(下野市)から寄附をいただきました。



編集後記

私は健康づくりのために柔道教室で子どもたちと汗を流しているのですが、最近では運動に専念するよりも、いかに子どもたちが真面目に稽古してくれるかを考える日々です…。わんぱくなのはほほえましいけれど、私の「こころの健康」のためにも、みんな真面目に稽古をやってくれえ～！(笑)(K)

私の実家では亀を1匹飼っています。私が小学生のときに飼いはじめ「亀吉」と名付けたのですが、しばらく経った頃に、亀吉がメスであることが判明！彼女は今も元気に暮らしていますが、両親からは相変わらず「亀吉くん」と呼ばれています(笑)。一度つけた名前は愛着もあってなかなか変えられないですよね😊(M)



新着図書

南那須図書館 ☎0287-88-2748 Fax88-0204
 烏山図書館 ☎0287-82-3062 Fax82-7566

図書館HPから新着図書が検索できます。 <https://lib-nasukarasuyama.jp/>

◆一般図書◆

- ◇『Chat GPT 120%活用術』 Chat GPTビジネス研究会
- ◇『大江戸虫凶鑑』 西田 知己
- ◇『もふもふの家族』 ばんばぱえりあ
- ◇『完全攻略! 鮎Fanatic』 坪井 潤一ほか
- ◇『絵師金蔵赤色浄土』 藤原 緋沙子
- ◇『青の国、うたの国』 俵 万智

◆DVD◆

- ◇『タンゴ』 三木 孝浩監督
- ◇『大河への道』 中西 健二監督
- ◇『ベイビー・ブローカー』 是枝 裕和監督
- ◇『グランパ・ウォーズ』 ティム・ヒル監督
- ◇『トップガン マーヴェリック』 ジョセフ・コシンスキー監督

◆児童図書◆

- ◇『釣り上達のコツ』 『小学生の釣り』編集室
- ◇『ようかいわんさかかわくわり』 荒戸 里也子
- ◇『バスうんでんしまーす!』 ひらぎ みつえ
- ◇『ちきゅうのびんづめ』 マーティン・スタネフ

◆電子図書◆

- ◇『思考の持久力』 齋藤 孝
- ◇『時刻表2万キロ』 宮脇 俊三
- ◇『沼にはまる人々』 沢木 文
- ◇『水族館が好きすぎて!』 まつおるか
- ◇『長生き地獄にならないための老後のお金』 森永 卓郎
- ◇『その時までサヨナラ』 山田 悠介
- ◇『ながればし』 武田 康男

作品集

毎月10日までに、総合政策課広報広聴グループ ☎321-10692 那須烏山市中央1丁目1番1号)あて、郵送で作品をご応募ください。

一面にスイーツ並ぶ広告をそれとなく見て疊むこのごろ 川俣登志子(旭)
 昼餉終え今夜のおかずは何がいい毎日メニューに悩む夫婦で 安藤 伯麗(旭)
 願い通りの老衰だよと地方紙のお悔やみ欄の母の名に触る 柳 つしま(中央)
 七夕の逢瀬は人の世にもあれ逢うべき人と必ず出会う 根本 栄寿(横枕)

短歌

昭和の子弁当だけは白い飯 石川 義郎(興野)
 白いもの目立つ頭に年感じ 樋山 隆(向田)
 花冷えに白さ際立つ二輪草 小堀 翠泉(中央)
 運動会ドドン・ドドンと日本晴れ 三保谷イツ(金井)
 川柳 篠崎 酔月(選)

川柳

梅の雨野菜も花も生き生きと 須田 孝子(城東)
 山頂へ足並み癒やす青葉風 古内 晴代(金井)
 竹の子を掘りつつ父を偲びけり 渡辺 節子(大金)
 俄雨はれて音なき虹となる 小針 久子(月次)
 俳句 水野 信一(選)

俳句



文芸コーナー

みなさまに支えられて**10周年**
 ~安心安全な住まいを提供しています~
 介護付有料老人ホーム
明和ふれあいガーデン
 ◆入居受付中 ◆お気軽にお問い合わせください
 那須烏山市小木須2659-2 Tel.0287-83-8735

安心な暮らしをサポート!
 三井住友海上代理店
(有)しおや保険事務所
 ◇損害保険:自動車・火災・企業賠償(サイバー) 他
 ◇生命保険:新総合収入保障・新医療・ガン保険 他
 ◆お問合せ ☎321-0526 那須烏山市田野倉383
 TEL:0287-88-9870 FAX:0287-88-0234

みんなの 自慢の1枚



市民の皆さんが撮影した写真を掲載します。
子どもの写真(中学生以下)、市内のイチオシ風景や穴場スポットの
写真、ペットの写真、偶然撮れたおもしろい写真(珍百景)など、気軽
にご応募ください。

応募の際は、①応募者の住所・氏名・連絡先、②掲載する際の名前(氏
名・ペンネーム・匿名のいずれかを記載)、③写真のタイトル、④写真
について一言(50字程度)記載してください。

■問合 総合政策課広報広聴グループ

Eメール: sohgoheisaku@city.nasukarasuyama.lg.jp



「イタズラ坊主おすまし中」

あきのおうぎさん

普段はイタズラばかりで小憎らしい時もあり
ますが間違いなく我が家のアイドルです。



「晴天に融けゆく」

とつつあんさん

雨が似合う紫陽花ですが、梅雨の晴れ間に見
るのもいいなと思いました。

初夏の夜に幻想広がる 市内各地でほたるの舞



横枕のほたる



大木須のほたる

市内各地ではほたるが夜空を舞い、幻想的
な空間を演出しました。

今年は6月初旬の梅雨入りとともにほた
るが飛び始め、横枕地区や大木須地区など
では有志の地元住民がほたるの案内所を開
設していました。

市内のほたる生息地には、多くの観光客が
訪れ、ほたるが飛び立つ様子を見て歓声を
あげていました。

おおぎすほたるの夕べ開催

6月17日(土)、大木須オオムラサキ公園で
は、4年ぶりに里山大木須を愛する会(川野邊
真会長)が主催する第16回おおぎす「ほたるの
夕べ」が開催されました。

当日は、インティ3による南米の民族音楽
コンサートのほか様々な模擬店が設けられ、
市内外から多くの人々が訪れました。



ほたるの夕べコンサート

